

みえ森と緑の県民税条例に基づく施行状況の検討

目 次

1. 「みえ森と緑の県民税」第3期に向けた制度見直しのスケジュール（案）
2. 「みえ森と緑の県民税」に関する主なご意見等

「みえ森と緑の県民税」第3期に向けた制度見直しのスケジュール（案）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和4年度		県民・団体、市町等からの意見聴収			第2回評価委員会 意見聴収結果の提示			第3回評価委員会 継続・見直しの 論点整理	素案作成	第4回評価委員会 素案の検討	市長会・町村会、主要首長 県議会常任委員会 素案説明	中間案作成
令和5年度	第1回評価委員会 中間案の検討	市長会・町村会、首長 市町担当者、関係団体 県議会常任委員会 中間案説明		第2回評価委員会 最終案の検討	最終案作成	第3回評価委員会 最終案の検討・答申	市町担当者 最終案説明	知事から 県議会 最終案説明			第4回評価委員会 次期制度の説明	

1. 「みえ森と緑の県民税」に関する主なご意見

第2期（平成31年4月から令和3年12月まで）に寄せられた意見等

区分	細分	現 状	要望内容	要望者		
				団体 要望	担当者 会議	個別 聞取り
制度 見直 し	時期	制度見直しの時期が（5年ごとに）限られている。	必要に応じて随時見直しができる制度としてほしい。	町村会、 町村議会 議長		
制度継続		きめ細かな森林整備を実施するために必要不可欠な交付金となっている。	令和6年度以降も制度の継続を望む。	熊野市		
		市民からも好評で、県民税を財源として継続的に取り組む必要がある。	県民税の継続を希望する。		伊賀市	
森林環境 譲与税と のすみわ け		木材利用についてすみわけが分かりづらい。	森林環境譲与税とみえ森と緑の県民税について、県民の意見を踏まえつつ、税収の用途や課税内容の調整を図るべき。	労働組合 総連合会 三重県連 合会		東員町 川越町
予算 配分	県： 市町	森林環境譲与税が交付され、市町が森林整備に必要な財源がある程度確保されつつある。	市町への配分を改め、県が重点とすべき施策に力を入れるべき。	林業経営 者協会		
	基本 枠	取組を継続する財源が不足している。	市町交付金が減額されることなく配分されることを希望する。		名張市 伊賀市	名張市
		熱心な市町では予算が不足している。	必要に応じて配分できる特別配分枠のような予算枠の創設を希望する。		伊賀農 林事務 所	名張市 大紀町
対策 区分	4と 5	対策区分4と5の区分が分かりづらい。				鈴鹿市
基金 積立	基本 枠	長期的な（期をまたぐ）取組に活用できない。	長期的な計画に基づいて取り組むことができるよう、期をまたぐ（5年以上の）基金積立・活用が可能な制度としてほしい。	川越町		

区分	細分	現 状	要望内容	要望者		
				団体 要望	担当者 会議	個別 聞取り
事業 の運 用	レー ザ測 量	航空レーザ測量により得られる情報を活用できていない。	航空レーザ測量の積極的な推進と、速やかな市町への情報提供を要望する。	津市 名張市 熊野市		
	基本 枠	現行制度では、森林が少ない都市部の自治体では活用が困難である。	各市町の状況に応じて柔軟に活用できるよう、適宜市町の意見を聞いて制度の見直しを求める。	町村会 町村議会 議長 四日市市		
		既存の施設の維持管理に予算を充てられない。	森林教育を行うフィールドとなる森林公園などの既存施設の維持管理に県民税を活用できるよう望む			熊野市
		流域など市町が連携して行う取組に市町交付金が活用できない。	流域の上下流の市町間で税を融通することはできないのか。		四日市 農林事 務所	